

Internet Explorerのセキュリティ設定の確認方法について

概要	電子請求受付システムにおいて、請求情報の送信時等、サーバとの通信時に、通信内容を安全に保護するために使用している暗号化通信のセキュリティを強化します。この対応により、平成 28 年 7 月 16 日以降、Internet Explorer のインターネットオプションの設定によってはエラー画面(※1)が表示され、電子請求受付システムにアクセスできない場合があります。
対応方法	Internet Explorer のインターネットオプションの《詳細設定》タブの設定内容を確認し、必要に応じ[TLS 1.0]、[TLS 1.1]及び[TLS 1.2]を有効にすることで電子請求受付システムにアクセスできるようになります。 なお、設定の内容はお使いの Internet Explorer のバージョン(※2)により異なります。

※1 以下のようなエラー画面が表示される場合があります。



※2 各 OS で利用可能な Internet Explorer のバージョンは、以下の通りです。

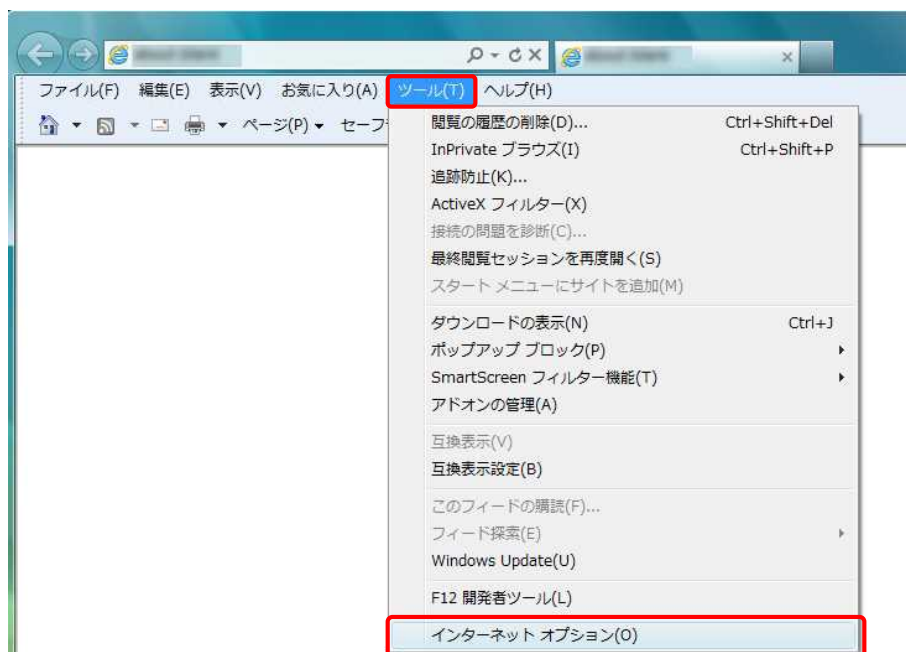
- Windows 7、8.1 及び 10 の場合 Internet Explorer 11
- Windows Vista の場合 Internet Explorer 9


以下の手順に従って、Internet Explorer のインターネットオプションの設定を確認してください。
なお、管理者権限のあるアカウントで作業を行ってください。

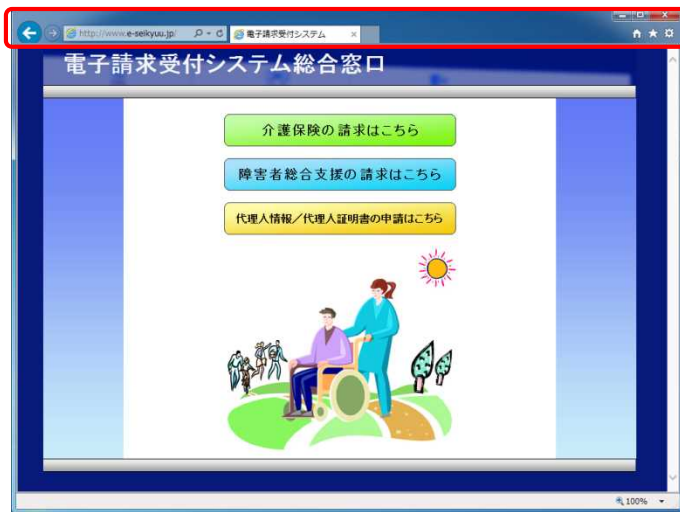
(1) Internet Explorer を起動します。



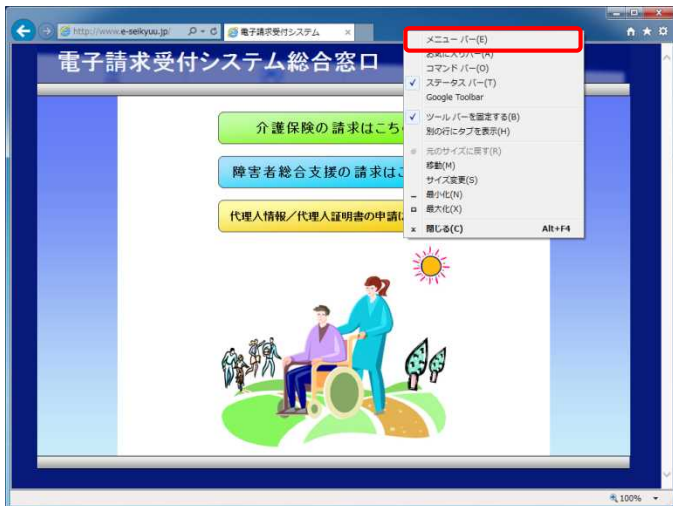
(2) メニューバーの《ツール(T)》→《インターネットオプション(O)》をクリックします。



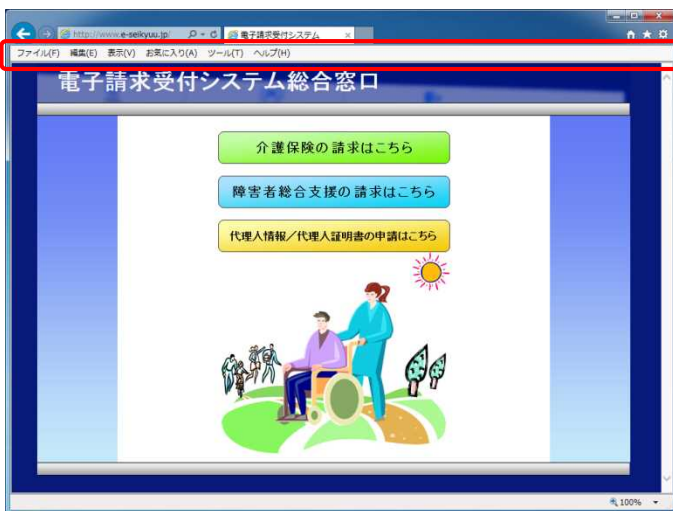
 **Point!** メニューバーが表示されていない場合



1. Internet Explorer の画面上の赤枠部を右クリックします。



2. 表示されたメニューより《メニューバー(E)》をクリックします。

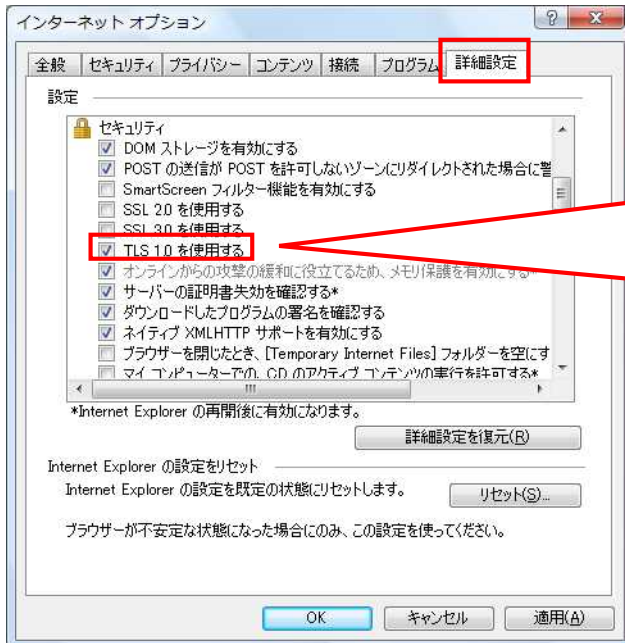


3. メニューバーが表示されます。

(3) 《詳細設定》タブをクリックします。

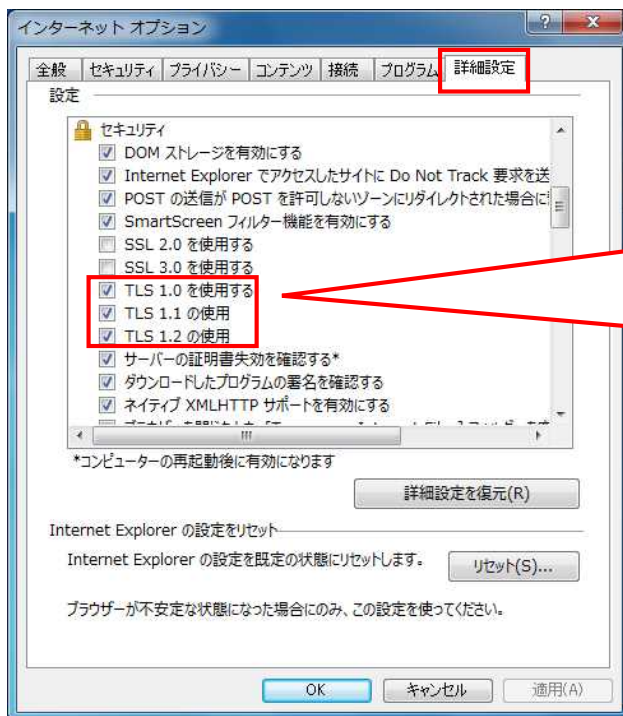
以下の通り、《セキュリティ》欄の設定内容を確認します。

• Internet Explorer 9 の場合




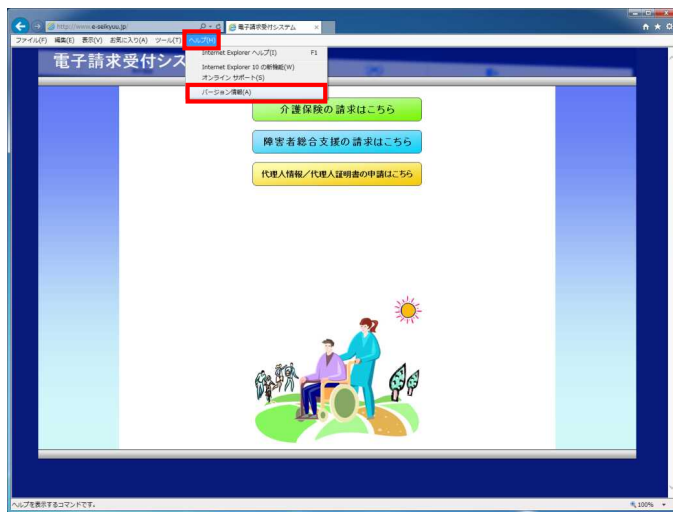
[TLS 1.0] の設定が有効になっていることを確認します。
設定が有効になっていない場合、
チェックを入れて設定を有効に
します。

• Internet Explorer 11 の場合




[TLS 1.0]、[TLS 1.1] 及び
[TLS 1.2] の設定が有効になって
いることを確認します。
設定が有効になっていない場合、
チェックを入れて設定を有効に
します。

 **Point!** Internet Explorer のバージョン確認方法について



1. メニューバーより、《ヘルプ (H)》→《バージョン情報(A)》をクリックします。



2. 表示された画面より、Internet Explorer のバージョンを確認してください。確認後、 ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じてください。

インターネットオプションの設定の確認手順は以上となります。